

二ツ井町との 合併について

二ツ井町との合併協議が始まりました。
市民のみなさんに合併についての説明や意見交換をするため、住民説明会を
開催し、合併の賛否について、市民意向調査を実施します。

■能代市二ツ井町合併協議会設置

市は、去る2月23日に能代市議会臨時会を開催し、能代市二ツ井町合併協議会の設置が決議されましたので、同日、合併協議会を設置し、秋田県知事に届け出を行いました。

◇なぜ二ツ井町と合併するのか◇

■市民生活と将来のため、合併は必要です

市税や国、県からの補助金などが年々減る一方で、人口の高齢化などに対応した支出は年々増え、能代市の財政状況はここ数年、非常に厳しくなっています。市民への行政サービス水準をできるだけ下げることなく保っていくためには、合併をして、市の仕事や仕組みを効率化し、経費を減らす必要があります。また、合併することによって国、県からの財政支援を受け、市民生活を守り、地域の発展に必要な事業を計画的に実施することができます。

さらに、より大切なことは、これからの地域の課題を解決するためには、一定の人口規模を維持し、地域のことは地域で責任をもって決定し、実行できる、国に頼らなくてもいい力を持った自治体をつくることであり、そのためにも合併は必要であるということです。

■能代市と二ツ井町の関わり

能代市と二ツ井町は、両市町を流れる米代川で結ばれ、古くから、人々の交流や木材・工業・農業などに深い関わりを持ってきました。特に天然秋田杉は二ツ井町で集められ、筏を組んで米代川を下る姿が、かつては当地を代表する風物詩として全国に知られていました。

現在、木材業や農業、商業などにおいて、能代市と二ツ井町は能代山本地域の中心的な役割を果たしているとともに、米代川流域の天然秋田杉や広大な農地から生産される農産物など特色ある地域資源や能代港、高速道路、大館能代空港などの流通面でも強い結びつきがあり、今後も一体となって発展することが期待できます。また、両市町とも恵まれた自然環境とともに生き、環境を守ることに力を入れてきており、合併して規模が大きくなることで、循環型社会に対応した環境関連産業などが育ち、働く場が増え、人口減少に歯止めがかかることが期待できます。